

仕様書番号：第 11 号
作成年月日：令和6年3月12日

浴場自動火災報知設備補修

宇都宮駐屯地業務隊

仕 様 書

- 1 件 名 : 浴場自動火災報知設備補修
- 2 作業場所 : 栃木県宇都宮市茂原1丁目5番45号 陸上自衛隊宇都宮駐屯地内
- 3 作業概要 : 移報信号線補修等
- 4 一般事項
 - (1) 適用範囲
本件は、本特記仕様書による他、下記仕様書によるものとする。
国土交通省大臣官房営繕部制定
公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）
公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）
建築保全業務共通仕様書
 - (2) 疑 義
図面と特記仕様書との内容に相違又は明示なき場合、疑義が生じた場合には、すべて契約担当官・監督官と協議するとともに、その指示に従うものとする。
 - (3) 軽微な変更
施工に際し、現場の納まり・取り合わせ等の関係で位置又は工法を多少変え、それ
ぞれによる数量を幾分増減する等の軽微な変更及び技術的に当然施工すべき事項が発
生した場合は、監督官の指示に従い施工するものとする。
 - (4) 消耗品等
本件に必要な工具類・消耗部品は請負業者の負担とする。
 - (5) 現場管理
ア 現場における火災予防、安全衛生並びに在来施設等の保護には、十分注意を払う
ものとし、一切の責任は請負業者が負うものとする。
イ 作業期間中、現場代理人は作業現場に常駐し、上記現場管理を徹底すると共に、
監督官の指示を確実に遂行できる状態を確保するものとする。
ウ 作業実施時間は0815から1700までとし、停電日等の監督官が指定した日
を除き、土曜日、日曜日及び祝祭日の作業は、原則として実施しないものとする。
 - (6) 発生材処分
撤去等により発生した発生材は、監督官の指示する場所に搬入するものとする。
 - (7) 実施工程
着工に先立ち監督官と協議の上、実施工程表を作成し提出するものとする。
 - (8) 施工図材料
ア 着工前に必要な手順、工法等についての施工計画書を提出し、使用材料等の見本
は必要に応じ監督官に提出し、承認を得るものとする。

件 名	浴場自動火災報知設備補修	図面番号	1 / 7
図 面 名	図 示	縮 尺	
作成部隊	陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		

イ 特記事項に製造元等の参考記載がある場合においては当該記載事項同等品以上のものとする。尚、特記なきものについては、J I S規格品とする。

(9) 作業写真

作業写真はカラーサービス版とし、着工前・作業中・完成後・施工後隠蔽部・材料検収及び監督官の指示するものを工事用アルバムに整理したうえ、原版と共に提出するものとする。ただし、デジタルカメラの使用については監督官の承諾を受けるものとする。

(10) 電気水道使用

作業に必要な電気水道は、すべて請負業者の負担において用意するものとする。

(11) 施行体制台帳

請負業者は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、施行体制台帳及び施工体系図を作成し作業現場に備えるとともに、監督官に提出するものとする。

5 特記事項

(1) 建柱

ア 新設鋼管柱は、溶融亜鉛鍍金仕上げ、地際部タールエポキシ塗装、設計荷重1560N以上（参考：ヨシモトポール ZCY-7.0）とする。

イ 建柱時の根入れ深さは、全長の1/6以上とする。

ウ 根枷は、張力方向に直角及び平行に2本の根枷を取付ける。

エ 根枷の埋設深さは、地表下0.3m以上とする。

オ 足場ボルトは架空線に平行に取付けるものとし、地上1.8mの箇所より、架空線の下方約1.2mの箇所まで順次柱の両側に交互に取付け、最上部は2本取付ける。

(2) 架空配線

ア 架線は、径間の途中で接続を行ってはならない。

イ 低圧架空電線と架空弱電流ケーブルとの離隔距離は、0.3m以上とする。

ウ 架空弱電流ケーブルの架空部分の高さは、地上より5m以上とする。

エ 架空弱電流ケーブルのケーブルをちょう架する亜鉛鍍金鋼より線には、D種接地を施すこと。

オ 心線の端子台への接続は、圧着端子を使用して接続する。圧着接続は、J I S C 9711「屋内配線用電線接続工具」による電線接続工具を使用する。

カ 本件において使用する架線等については、下記のとおりとする。

通信ケーブル : 全心着色ポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル（自己支持形）（EM-F C P E E - S S）

接地線 : 600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線（EM-I E） 緑色

(3) 接地

ア 特記なき限り使用電線は、600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線（EM-I E）緑色とし、その太さは特記仕様書内外線図による。

イ 接地極

接地は、下表によるものとし規定の抵抗値が得られない場合は、監督官と別途協議すること。

件名	浴場自動火災報知設備補修	図面番号	2/7
図面名	図示	縮尺	
作成部隊	陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		

記号	種別・用途別	既定値	施工内容
ED	D種	100Ω以下	打込棒 14φ 1500×3連結×1ヶ所

ウ 施工方法

- (ア) 接地極は、なるべく湿気の多い場所でガス、酸等による腐食のおそれのない場所を選び、接地極の上端を地表面下0.75m以上の深さに埋設する。
- (イ) 接地線は、地表面下0.75mから地表上2.5mまでの部分を耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE)で保護する。また、耐衝撃性硬質ビニル電線管(HIVE)は、地表上0.3m、地下0.2mまでの部分を水道用硬質ポリ塩化ビニル管(HIVP)で保護する。
- (ウ) 接地線と接地する目的物及び接地極とは、電気的かつ機械的に接続する。
- (エ) 接地線と被接地工作物、接地線相互の接続は、はんだ揚げ接続をしてはならない。
- (オ) 各接地線には、地表上3.0mの位置に測定用端子(ボルト型コネクタ、高圧用ボルト型コネクタ用カバー共)を設けること。
- (カ) 新設電柱の底面下に施設する場合は、電柱底面下から0.3m以上離すこと。

(4) 金属管配線

- ア 管の切り口は、リーマ等を使用して平滑にする。
- イ 管の支持は、サドル、ハンガ等を使用し、その取付間隔は2m以下とする。また、管とボックス等との接続点に近い箇所及び管端を固定する。
- ウ プルボックスの支持点数は、4箇所以上とする。
- エ プルボックスを支持するためのボルト、ふたの止めねじ等のボックス内部への突起物には、電線の損傷を防止するための措置を施す。
- オ 管相互の接続は、カップリング又はねじなしカップリングを使用し、ねじ込み、突合せ及び締付けを行う。また、管とボックス、分電盤との接続がねじ込みによらないものには内外面にロックナットを使用して接続部分を締付け、管端には絶縁ブッシング又はブッシングを設ける。
- カ 接地を施す配管は、管とボックス間にボンディングを行い電気的に接続する。ただし、ねじ込み接続となる箇所は省略することができる。
- キ 接地を施す金属管と配分電盤、プルボックス等との間は、ボンディングを行い電気的に接続する。
- ク ボンディングに用いる接続線(ボンド線)は、2.0mm以上の軟銅線を使用する。

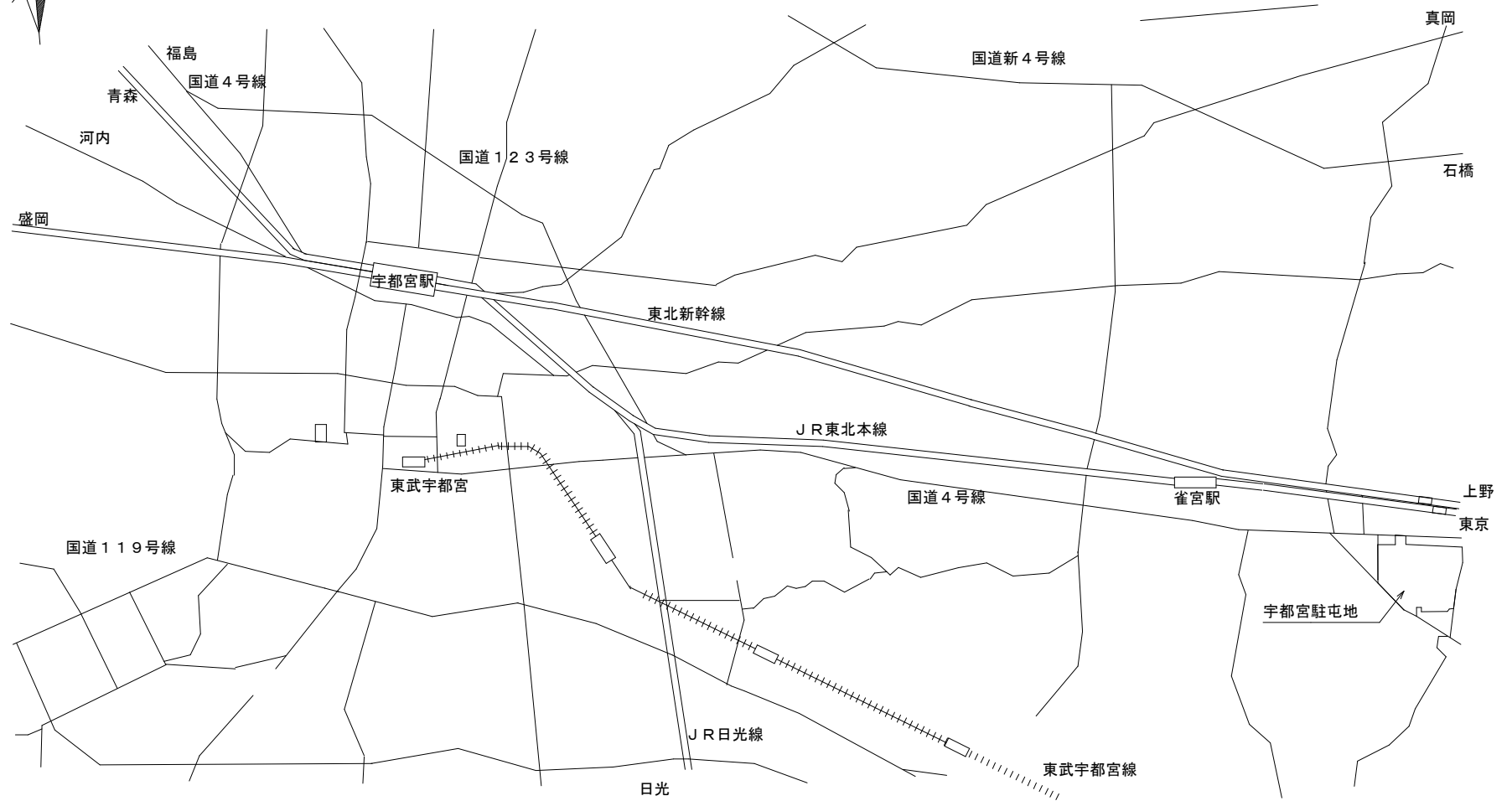
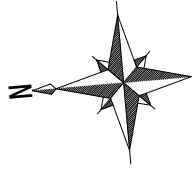
(5) はつり及び穴開け

- ア 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則として、ダイヤモンドカッターによる。なお、貫通場所、口径等は特記による。
- イ 配管施工完了後、必要に応じて、モルタル又はロックウールを充てんする。
- ウ ダイヤモンドカッターを使用する場合は、ノロ、ガラ、発生水等の処理及び養生を確実にを行う。
- エ 穴開け完了後の貫通穴の確認及び必要により養生を確実にを行う。

(6) 各種試験

- ア 施工完了後、新設架空線等に対し、絶縁抵抗試験及び導通試験を実施し、試験結果を書面にて報告する。
- イ 移報試験を実施し、試験結果を書面にて報告する。

件名	浴場自動火災報知設備補修	図面番号	3/7
図面名	図示	縮尺	
作成部隊	陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		



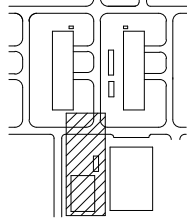
件名	浴場自動火災報知設備補修	縮尺	——
図面名	駐屯地案内図	図面番号	4/7
作成部隊	陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		



至 福島 国道4号線 至 東京

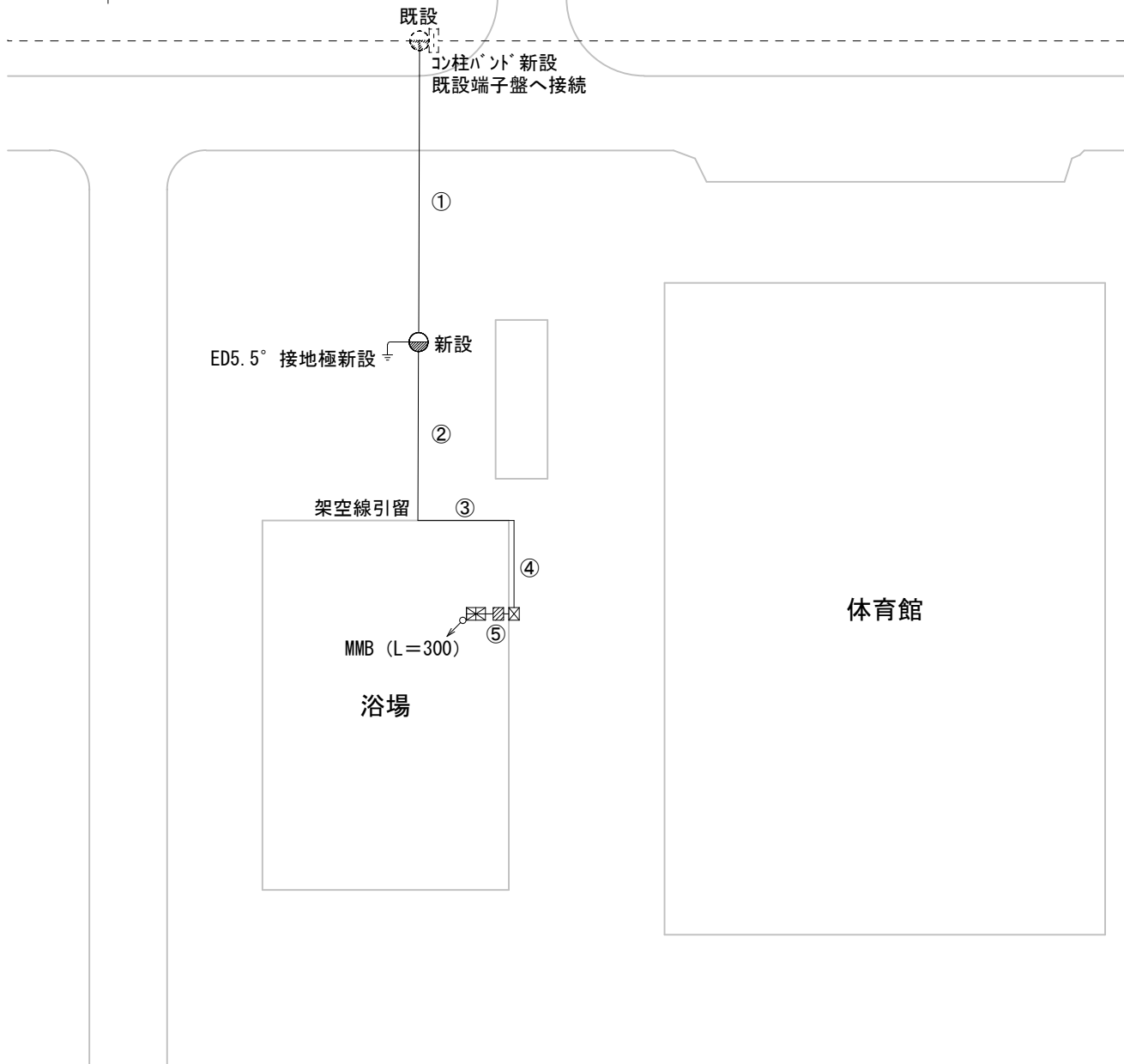
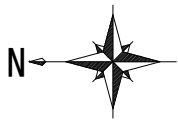
正門

警衛所



 作業箇所

件名	浴場自動火災報知設備補修	縮尺	1/6000
図面名	駐屯地配置図	図面番号	5/7
作成部隊	陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		



配線リスト

番号	線種	備考
①	EM-FCPEE-SS0.9-5P	新設
②	EM-FCPEE-SS0.9-5P	新設
③	EM-FCPEE0.9-5P (Z16)	新設
④	EM-FCPEE0.9-5P (Z16)	新設
⑤	EM-FCPEE0.9-5P、E2.0 (PF16)	新設

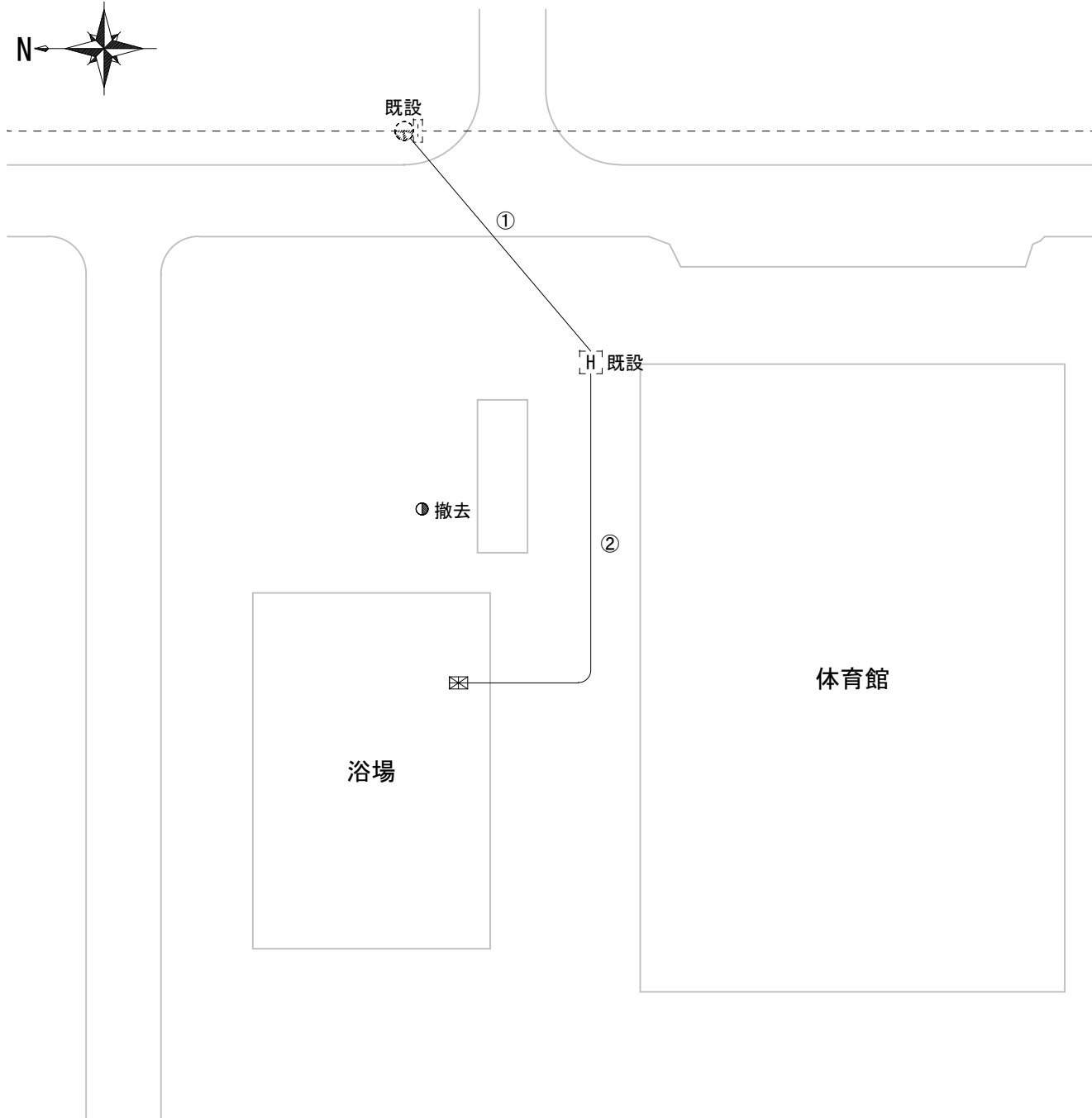
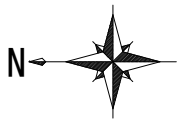
注記)

(1) 既設火災受信盤への下り配線は、マルチLB型を使用すること。

凡例

記号	名称
-----	既設架空線
—————	新設配線
⊕	既設電柱
●	新設鋼管柱 L=7000
⊠	新設P. BOX (150° × 100 WP Zn ET付)
⊚	壁貫通箇所 (φ25 t250)
⊞	既設火災受信盤
⊞	既設火報端子盤

件名	浴場自動火災報知設備補修	縮尺	1/500
図面名	新設配線平面図	図面番号	6/7
作成部隊	陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		



配線リスト

番号	線種	備考
①	CPEV-S0.9-3P (FEP30 配管は残置)	撤去
②	CPEV-S0.9-3P (FEP30 配管は残置)	撤去

凡例

記号	名称
-----	既設架空線
————	撤去埋設配線
⊕	既設電柱
⊙	撤去鋼管柱
⊠	既設火災受信盤
□□	既設火報端子盤
⌈	既設ハンドヘル

件名	浴場自動火災報知設備補修	縮尺	1/500
図面名	撤去配線平面図	図面番号	7/7
作成部隊	陸上自衛隊宇都宮駐屯地業務隊管理科		